KENWOOD

レコードプレーヤー

P-110

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使い方の説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で、使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-4037-08 (J) OC
98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 97/12 11 10 9 8 7 6

P-110 (J)

本機の特長

省スペース設計

本格的なベルトドライブプレーヤーでありながら、省スペース設計。

イコライザーアンプ搭載

MM（ムービングマグネット）.カートリッジ用のイコライザーアンプを内蔵しているため、フォノ入力のないアンプにも接続できます。

知っておきましょう

セットのお手入れ

前面パネル、ダストカバーなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

露付きにご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。
この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

音楽著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形、破損させることがあります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には、小さい音量でも通りやすいものです。夜間のステレオ再生には、特に気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心をくばり、快い環境を守りましょう。

目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため､｢安全上のご注意｣をご使用の前によくお読みください。

この｢安全上のご注意｣には､当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。
(説明項目の中には､操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では､製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して､誤った取扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して､誤った取扱いをすると､人が傷害を負う可能性が想定される内容､および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は､注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は､禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は､行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様､または第三者が､この製品の誤使用､使用中に生じた故障､その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については､法令上の賠償責任が認められる場合を除き､当社は一切その責任を負いませんので､あらかじめご了承ください。

本製品の故障､誤動作または不具合による､テープやディスク等へ記録された内容の損害､および録音､再生など､お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等､付随的損害の補償については､当社は一切その責任を負いませんので､あらかじめご了承ください。

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

電源コードの取扱い

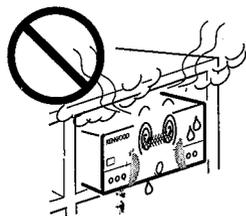
電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

使用禁止

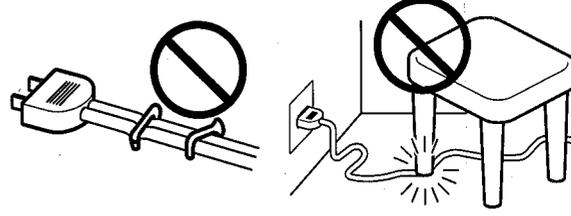
電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
- 修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。

《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。
- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。

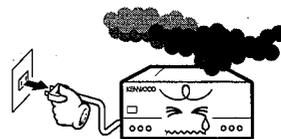
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

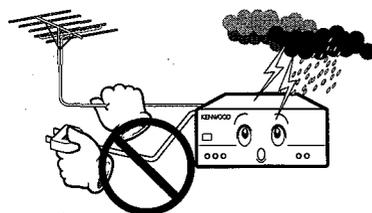
風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》
- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

雷が鳴り始めたら

接触禁止

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

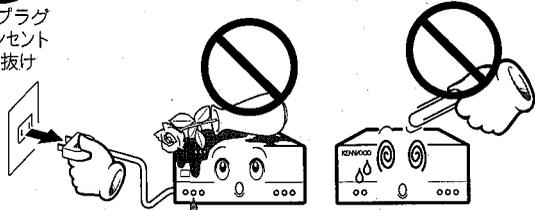
⚠警告

水ぬれ
禁止

電源プラグ
をコンセント
から抜け

機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

落下した機器は使わない

電源プラグ
をコンセント
から抜け

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

ケースを絶対に開けないでください

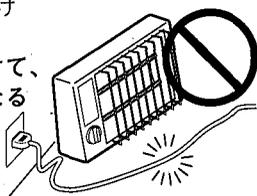
分解禁止

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

⚠注意

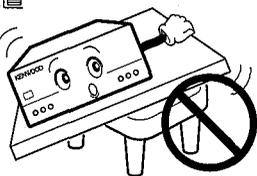
電源コードは熱器具の近くを避けて

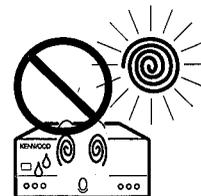
電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

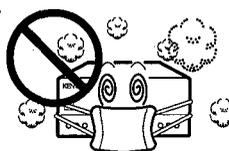
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

湿気やほこりのある場所に置かない

水ぬれ
禁止

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
《火災や感電の原因になることがあります》

長期間使用しないときは

電源プラグ
をコンセント
から抜け

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

P-110 (J)

音量に気をつけて

はじめに、音量（ボリューム）を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は

電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

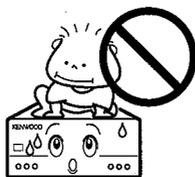
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》

電池の取扱い

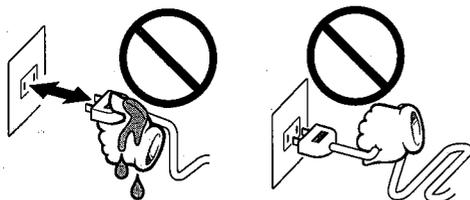
電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

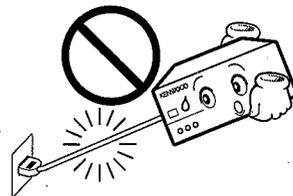
電源プラグの抜き差しは

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

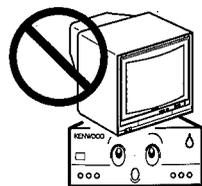
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

機器を移動させる際は

電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード（アンテナ線や機器間の接続コードなど）を、はずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》

指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。
《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

組立を始める前に、次の部品がそろっていることを確認してください。
はじめに、接続するアンプの入力端子にあわせて、MM. AMP 切り換えスイッチを切り換えてください。(「接続について」参照 →8)

ダストカバー

ゴムシート

オーディオコード

電源コード

センタースピンドル

ターンテーブル

SPEED(回転数)
切り換えスイッチ

モータープーリーカバー

EPアダプター

アームエレベーター

キューイングレバー

アームレスト

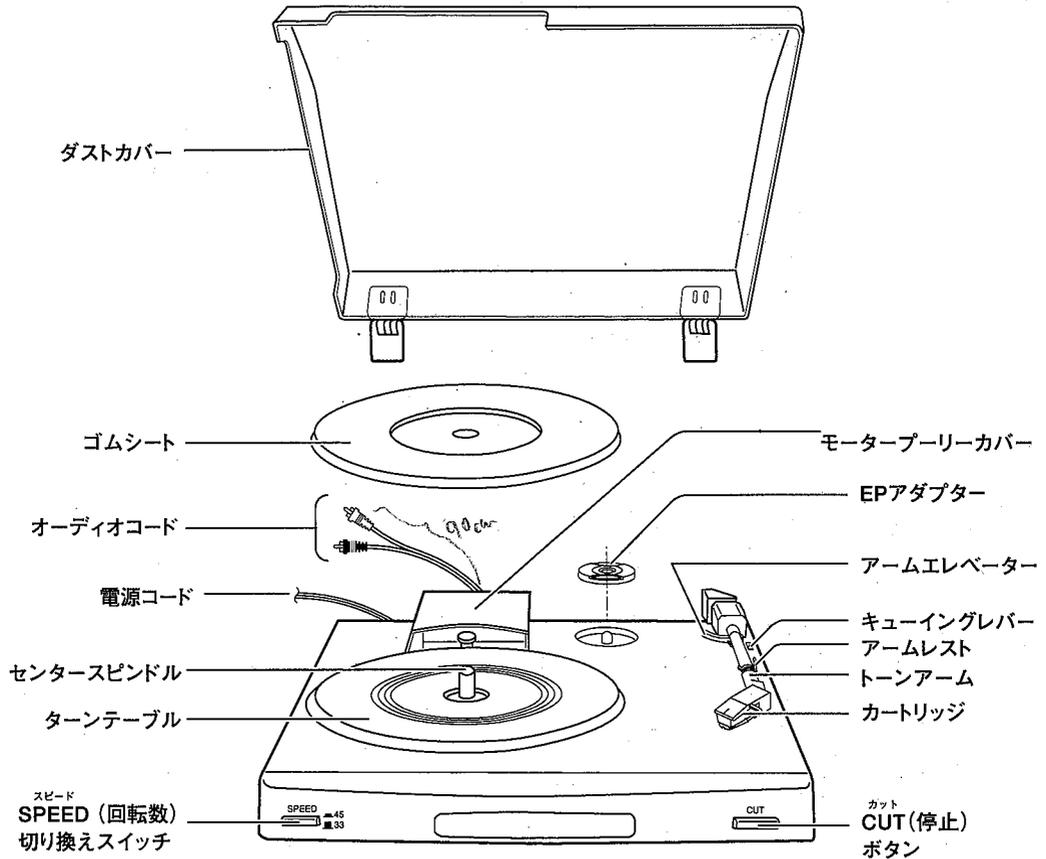
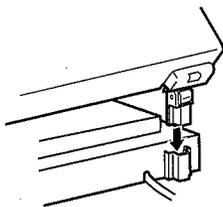
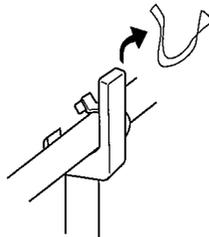
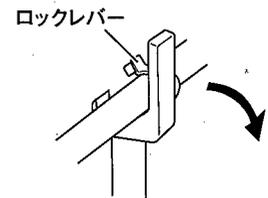
トーンアーム

カートリッジ

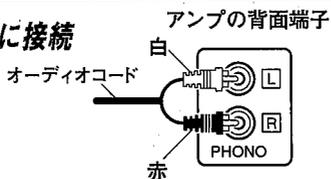
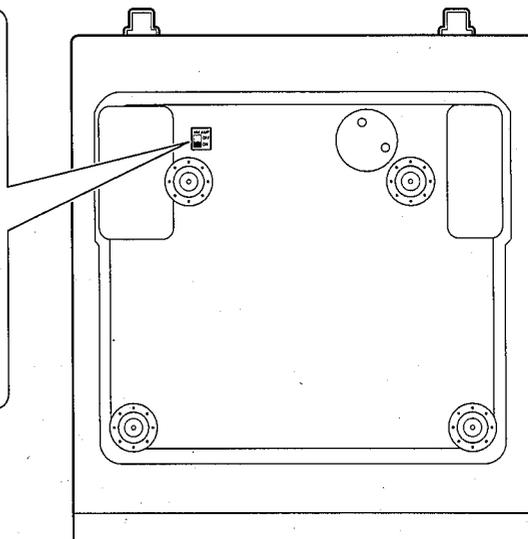
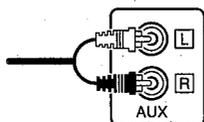
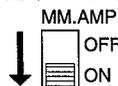
CUT(停止)
ボタン

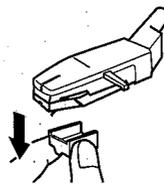
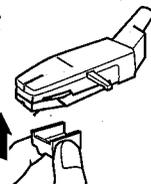
SPEED 45 33

CUT

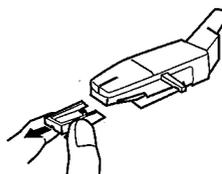
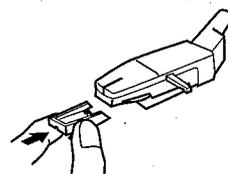
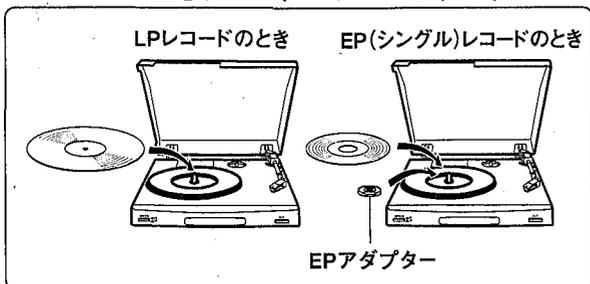
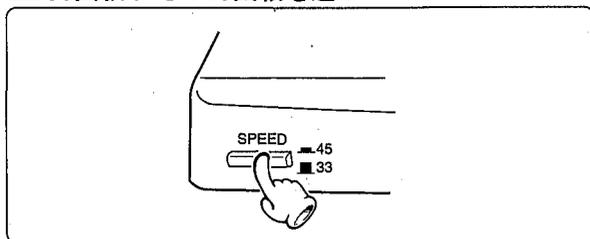
P-110 (J)

準備が完了するまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。

接続について

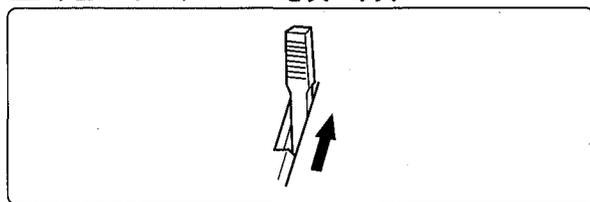
本機はM.M.（ムービングマグネット）カートリッジ用イコライザーアンプを内蔵しています。
接続するアンプにPHONO（フォノ）入力端子のある場合と、ない場合で、MM. AMP（ムービングマグネットアンプ）切り換えスイッチを切り換えて、お使いください。

本機底面

針カバーの使いかた

レコード針の交換について

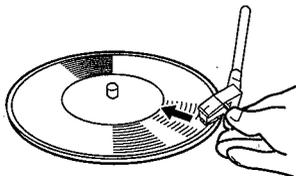
- 交換針は、必ずケンウッド純正N-69をお求めください。
- レコード針を交換するときは、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- 交換針は、LPで約500回まで使えます。

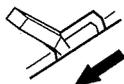
再生のしかた

1 レコード盤をターンテーブルにセットする

2 33回転または45回転を選ぶ

:33回転のとき

:45回転のとき

3 キューイングレバーを奥へ倒す

● アームエレベーターが上がります。

4 再生を始める

(1) 再生を始めたいところへ、カートリッジを動かす

● トーンアームをレコード盤上に移動するとターンテーブルが回転を始めます。

(2) キューイングレバーを手前へ倒す

● カートリッジがレコード盤上に降りて、再生を始めます。

● 再生が始まる前にトーンアームが戻ってしまうときは、もう一度(1)、(2)の操作を繰り返してください。

再生を一時停止するとき

キューイングレバーを奥へ倒す

● 再生を始めるときは、キューイングレバーを手前へ倒します。

再生を停止するとき

● トーンアームが自動的にアームレストに戻り、ターンテーブルが停止します。

故障と思われる症状ですが...

P-110 (J)

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症　状	原　因	処　置
左右両方の音がでない、または片側の音がでない。	●オーディオコードが正しく接続されていない。	●アンプへの接続を確認する。
ブーンと言う音がして、信号がでない。	●オーディオコードの接続が不完全。	●確実にアンプへ接続する。
音量を上げると、ハウリング(ポワーンという音)が音楽を消してしまう。	●スピーカーからの振動がプレーヤーに伝わり、共振している。	●プレーヤーをスピーカーから離す。
ターンテーブルが回転しない。	●電源プラグがはずれている。 ●駆動ベルトがはずれている。	●電源が入っているか接続を確認する。 ●ターンテーブルとプーリーにベルトを掛ける。
正常に針がトレースしない。	●レコードか針先にゴミが付いている. ●針先が摩耗している。	●レコードや針先のゴミを取り除く。 ●針を交換する。
音が極端に低く、歪んでいる。	●底面のM.M. AMP ON/OFFスイッチが正しい位置にセットされていない。	●「接続について」を参照し、正しい位置にセットする。

ご注意:

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

定格

フォノモーター部

駆動方式 …… ベルトドライブ
モーター …… DCモーター
ターンテーブル …… 18.5 cm
回転数 …… 33-1/3 and 45 rpm.
ワウ・フラッター …… 0.1 % (W.R.M.S.)
S/N比 …… 65 dB

トーンアーム部

形式 …… スタティックバランス型ストレートパイプ方式
アーム実効長 …… 203mm

カートリッジ部

形式 …… MM 型(N-69)
針 …… 0.6ミル接合ダイアモンド
周波数特性 …… 20～20,000
出力電圧 …… 2.5 mV (1kHz, 3.54 cm/sec.)

イコライザー部

出力電圧
(MM. AMP ON時) …… 250 mV (1,000 Hz, 3.54 cm/sec.)

電源部・その他

電源 …… AC 100V, 50/60Hz
消費電力 …… 5 W（電気用品取締法に基づく表示）
最大外形寸法 …… 幅 280 mm
高さ 87 mm
奥行 325 mm
質量（重量） …… 2.0 kg

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(摂氏0度以下の)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

保証書（別途添付）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してくださ

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、添付の“ケンウッドサービス網”をご覧ください）

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、８年間です。
この期間は、通省産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“故障かな?と思ったら”に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）